

○近藤産業振興担当課長 それでは、後半の議事を進めてまいりたいと思います。

産業振興担当課長の近藤です。よろしくお願いいたします。

会議の冒頭でもご案内させていただきましたが、後半は感染リスクの削減のため、部会の人数のままで全体会議の議題を取り扱う形式で行わせていただきます。

議題は、前半と重複する部分もありますが、次第にありますとおり、令和3年度予算（案）、令和3年度港区運営方針（案）、大阪市港区まちづくりビジョン等の改定、港区エリア別活性化プランの策定、その他となっております。全体会のほうも説明は短めにとということで、質疑応答の時間を長めに取っていきたいと思っております。皆様のご協力によりまして、8時には終えていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

それでは、山本議長、議事進行をお願いいたします。

○山本議長 失礼します。全体会、これは本来ならば大西会長が議長なんですけれども、こういう分割してということなので、僭越ながら、一応また議長ということで、皆さん、よろしくお願いいたします。

それでは、早速全体会議の部分の議事ですけれども、先ほどの令和3年度予算（案）、また令和3年度港区運営方針（案）について、一応全体会として、まとめて伺いたいと思います。ご説明よろしくお願いいたします。

○近藤産業振興担当課長 先ほどと同じような形になるのですが、議題1の令和3年度予算（案）と議題2の令和3年度港区運営方針（案）に関しまして、同じように事前配付資料の別紙1、別紙2を既にご一読いただいたものとして、詳細説明は省略させていただきます。

予算（案）、運営方針（案）のうち、前半取り扱いましたこども教育に関わる部分以外について、ご質問、ご意見等ございましたらお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○山本議長 ちょっと、なかなか質問しにくいですね、これは。

皆さん、どうですか、委員の皆さん。

一応、もう一回、すみません。資料の説明をしてもらえますか、事前配付の資料の。みんな戸惑っているんで。

○近藤産業振興担当課長 全体に関わりますので、説明し出すとなかなか長くなるのですが。

○山本議長 運営方針。

○近藤産業振興担当課長 運営方針のほうは、少しコンパクトにまとめた別紙の2になります。

すが、こちらのほうで抜粋してポイントをまとめております。この辺、太字のところのテーマを見ていただきまして、ご自身がご関心のあるテーマ、ここに記載されていない内容でも構わないですから、広く区政全般についてご意見、ご質問をいただければと思います。

○山本議長 委員の皆さん、どうでしょうか。意見ございましたら、またご質問ございましたら言っていただきたいなと思うんですけども。

ちょっとだけ私、脱線してよろしいですか。

先ほど学校のサポーター、人材バンクとかいう言い方もありましたけれども、ぶっちゃけて言うたら、お金は出すけれども学校で探してきてくださいという形ですよ。今ぶっちゃけて言うたけれども、だから各学校の校長先生や教頭先生はじめ、いろんな人に言うてると。せやけど、先ほど言われたように、予算をもうちょっと何とかして、区役所で先ほど言うたような人材バンクの形というのを、早急にそういうふうに予算を上げてやるという、そういうわけにはいかなのですか。

○三上教育担当課長 教育担当課長でございます。

前半の部会のほうでちょっと説明させていただいたものを補足させていただきます。

教育委員会のほうも支援サポーターの制度を持っておりますし、我々区役所のほうも予算的には確保しておりますので、校長会の場で大体この学校で幾らといったような配分も決めております。ただ先ほど区長のほうからお話ありましたように、やっぱり学校に近いところの方であったりとか、校長先生の目にかなった方といったようなところをやっぱり校長先生や教頭先生に選んでいただいておりますので、今後、人材バンクといったことも考えておりますが、やっぱり基本は現場の校長先生、教頭先生に選んでいただいて、その足らずというんですか、そこの人材を提供するといったことも今後考えていきたいと思っております。

すみません、以上でございます。

○山本議長 ありがとうございます。すみません。

ないようでしたら、次、議題3、これいきましょう。よろしいですか。

○近藤産業振興担当課長 議題3が大阪市港区まちづくりビジョン等の改定についてということで、ちょっと太い別紙3になります。そちらのほうの資料になります。

港区の総合計画となりますまちづくりビジョンでは「暮らして楽しい」「遊んで楽しい」「働いて楽しい」まち「港区」の実現のため、まちづくりの5つの柱を定めております。議題の2にもありました運営方針も、その5つの柱を基に策定されておまして、議

題1にあります予算案もそれに沿った予算編成を行い、区政を運営しているところでございます。

5つの柱のうち、より区民の皆様の生活の根幹となる「安全・安心・快適なまちづくり」「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」については、さらにその具体的な指針となります、また別紙でおつけしております港区防災計画、港区地域防犯計画、港区地域福祉計画という3計画も策定しております。

これらまちづくりビジョンと3計画につきまして、当初、平成31年度を目標年度として平成28年に策定いたしました。そして、皆様が区政会議委員に就任されて最初に開催しました一昨年11月の区政会議におきまして、特に区の実行方針に変更がないことから、時点修正にて改定する旨、ご承認いただきまして、令和2年度当初に改定したところでございます。

また、このたびは令和2年度末までの計画となっているこれらのビジョンと3計画につきまして、昨年と同様、大きな方針に変更がないことから、再度令和3年度末までの計画へと時点修正にて改定したいと考えております。

改定内容については、目標値の更新や状況の変化に伴う記述の変更などを行っておりまして、事前配付資料の別紙3のうちに注釈をつけて、分かるようにお示しはさせていただいております。

簡単ですが、説明は以上になります。よろしくお願いします。

○山本議長 まちづくりビジョンですね、改定。これ委員の皆さん、何か質問か、皆さんのお考えとか、何かありますか。

大野さん、何かない。

○筋原区長 特にこういうビジョンとか運営方針とか、いろいろ資料は渡しており、それもあります、区政会議、この各部会は、もともと委員の皆様方の日頃気になっているところを出していただくというのが大事なことで、そういう全体の話というのはお送りした資料を読んでいただいて、また何かあったらということで、あまり固く考えていただかなくて、日頃気になっていらっしゃることをおっしゃっていただいたら。

○山本議長 せんだって、うち、家族の話ちょっとしますね。実は先ほどお話ありました築港、港晴の校区とかの。こんな話ししたんですよ。築港小学校と築港中学校、今も子どもが本当に少ないですよ。これが一貫校になったとしましょう。一貫校となって、これは英語を特化する学校にすると。築港中学を卒業する頃には、ほぼ全生徒が英会話ができる。

せやけど文法とかそんなのどうでもよろしいねん、テストなんかどうでもいい。英会話ができる。そういう学校づくりをもしした場合、そのエリアに引っ越しして学校へ行かすかと聞いたんですよ。ほとんど皆、僕と話ししている人、若い世代ですよ。今、子を抱えている、うちの息子も含めて、みんな「行かす」と言いましたけどね。だから、これは突拍子もない構想かも分かりませんが、そういうこともこれから必要になってくるんじゃないかなってなことを、この間話して、思っておりました。

もっと言うたら、奥さんは「15歳で英会話ができるためには、今から塾へ行かしたって絶対無理や」と。「そんなお金ももったいない。でも、公立の学校でそうなんねやったら、これは非常に」とかいう話はしていました。まあ、英語には弱いすわな、我々皆。

だから、英語ができるというだけで相当なメリットがあるんじゃないかなと、そういうふうに話をこの間ちょっとやったんです。どんなもんですか。

○筋原区長　ありがとうございます。

これは、学校統廃合の話はこれから地域の皆様方といろいろとお話を聞きながら進めていくわけなんです、これは私の個人的な感覚ですよ。まずはやっぱり万博でどうなるかというのは一つ大きくあるんですよ。港区は今、注目は物すごく浴びていて、いろいろなプロジェクトもやりたいというような声もあるんです。だから万博を見据えて、物すごくポテンシャルは上がってきていて、それで人口がどう変わるかというのが一つあります。

それを見極めた上で、もしそれでも増えなかったらそのときです。そのときは、もうまさに今、山本議長おっしゃるとおりのことやと思うんです。統合しても、それは新しいところが、やっぱりただ統合しただけだったら駄目だと思いますよ。誰もが行きたいという魅力のある物すごくいい学校に生まれ変わるということがないと、意味はないなとすごく思っておりますので、ただこれはもちろん地域の皆様方のご意見を聞きながら進めていくことではございますけれども、今の英語がいい学校やったら引っ越ししてでも行かせるというお声があるとかいうようなことは物すごく貴重なご意見だと思いますので、ぜひそういうご意見をお聞かせいただければなと思います。ありがとうございます。

○山本議長　すみません。

じゃ、大野さん。

○大野委員　いや。

○山本議長　ほかの委員の皆さん、何かありませんか。僕が言うたような訳分からんことでもええと思うんですよ。日頃いろんな話ししてると思うんで、やっぱりこういうときに、

こんな話、普段してますよというのを区役所の方に、区長をはじめ、ちょっとでも知ってもらえたら。その機会じゃないかなと僕は思うてんですけれども、どうでしょう。

はい、どうぞ。

○発坂委員 すみません。全然大した質問じゃないんですけれども、銀行が2つなくなって、すごい不便になってきたんですが。

○筋原区長 銀行の支店が2つ、港区から撤退をして、非常に地域の方々も、やっぱり港区は多分衰退して駄目になっていくというようなお声を聞くんですけれども、これは港区が駄目になっているんじゃなくて、銀行が駄目になっているだけです。銀行さんがしんどくなって統合しているだけなんで、もちろんあそこが去られたというのは、我々は、私も港区民なのであれですけれども、そこは私もあそこの支店使ってたんですけれども、でもそれは携帯の、ネットバンキングとかも使ってやっていますので、そこは、去られたものは仕方ないかなとは思いますが、決してそれが港区の衰退しているということとイコールではありませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

○発坂委員 ネットバンキングだと高齢の方はちょっと厳しいとは思いますが。

○筋原区長 でも銀行さんの経営判断なので、そこはちょっと僕も。あとは郵便局長さんとも非常に日頃よく意見交換はさせていただいているので、いろんな金融機関で高齢者の方のバックアップをお願いしておきたいなと思って、私からも伝えるようにさせていただきたいと思います。

○山本議長 よろしいですか。

ほか、ないようでしたら、次、4番目、お願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

○藤田にぎわい創出担当課長 にぎわい創出担当課長、藤田です。

4番目の議題ですが、港区のエリア別活性化プランの説明です。お手元のカラー印刷で、ちょっと分厚いと思いますけれども、冊子がございます。本文と資料編があります。分かりますでしょうか。事前には概要版をお配りもしています。

港区のエリア別活性化プランについては、本文のページをめくっていただき2ページをご覧くださいますと、位置づけがあります。先ほどの議題でまちづくりビジョンの話がありました。まちづくりビジョンは5つの柱がありまして、その最後の柱で「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」をするということになっています。これが先ほどもいろいろご質問出ていましたけれども、結局は来てみたい、住んでみたいまち、それだけの魅力が

あるまちということがどんどん進んでいけば、銀行の問題とか学校の問題も上向きに改善されていくということにもなろうかと思しますので、そういう意味では大変大事なことと思っています。

ただまちづくりビジョンでは、5つ目の柱のところの記述は割と薄っぺらな形になっていましたので、それをもっと充実させたといいますか、こういうまちづくりをしたいとか皆さんと一緒に考えていきたい、進めていきたいと思うため、一つの指針を作ったというふうに考えていただけたらいいと思っております。

大変分厚い資料なので、なかなか読むのは大変だと思いますが、これから抜粋して、目を通していただきたいところをご説明したいと思います。

それで、資料は3月1日に出まして、3月31日までの期間でパブリックコメントを実施しています。パブリックコメントの用紙は本文などを合わせまして、区役所のホームページにも出ていますし、区役所の中では1階の区民情報センターや、港区民センター、近隣センターとか社会福祉協議会のひまわりなどの施設でも配布しております。この場でご意見が出てくるのも歓迎いたしますけれども、後でご覧いただいて、ぜひパブリックコメントにご意見をいただけたら、本文の改善や修正も、内容によっては可能になってまいりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

ページをずっと見ていただきますと、5ページがあります。そこで方向性が書いてあります。1つは、港区というのが湾岸部に位置しているというところと、それから特に都心部に非常に近い関係にあります。交通でバスとか地下鉄もすぐにあると。また、万博とか、それからI Rということも進んでまいりますので、そういう機会や立地条件を捉えながら、いろいろな人の流れが交錯して集まって、またそこから出ていくという、一つの大きな鉄道ターミナルみたいな形でのまちづくりというのが必要というのが方向性の1番目です。

それから、方向性の2のところも重なりがありまして、先ほど申しましたように川とか海に面しているという特性と、それから特に八幡屋の公園とか、それから大きなスポーツ施設とかもありますので、そういった公共的な土地や施設など、それから水辺の魅力を活用しまして魅力を発信していくということと、それから特に居住環境をよくしていくということで、人がだんだん来ていただけるようなまちづくりをするというのが2番目です。

3番目というのが手法的な部分になってきますが、ここにお集まりの皆さんもございまして、それから企業活動ということで港区において企業などで活躍されておられる人もおります。行政がそういった方々と、区長がいつも言うてます公民連携という形で、公と民

間と、それから地域の方が主体でございますので、これらの方々と一緒にまちづくりを進めていくということです。それによって新しい物事とか事業が起こっていったら、それがさらに新しいものにつながっていくという継続的なまちづくりを進めていきたいという方向性です。

次、ずっとめくっていただきますと、26ページと27ページがあります。特に27ページをご覧くださいと、地図があつて、港区の中に赤と緑と青色で丸を描いています。これはどういうことかということですが、今まで港区は築港地区を中心にまちづくり計画をつくってやっていたけれども、築港地区だけじゃなくて港区全体でまちづくりを進めていきたいということでございますが、そういうときに地域差がありますので、それぞれの地域の特色を生かしながらまちづくりを進めていくという考え方を取っています。

港区は東西方向に長いので、地下鉄の駅で分けまして、弁天町駅周辺と朝潮橋駅の周辺と大阪港駅の周辺の各エリアに区分して、それぞれの特色を生かしたまちづくりを進めていくということです。また、それぞれのエリアが別々に動くのではなくて、それぞれ連携を取りながら、それぞれの個性が相乗効果を上げていくということです。例えば地理的な特性や優位性を生かすということでは、都心部と結んで人の流れを生み出すこと、それから水辺がありますので、川とか海に面した魅力を活かして、より広域的なほかのまちとのつながりを強化することによって、様々なところとの人の流れや交流を生み出していくような仕掛けをつくっていきたいと思っております。

弁天町周辺のエリアが赤色のところですが、これはベイトワー大阪などがある、言わば港区の中では都心機能が一番充実したところですが、そういった機能をより有効に活用するというのと、それから市岡商業高校跡地など、まだ使われていない土地もありますので、そういった土地が民間によって有意義に活用されていくことを促進するということ。それから弁天埠頭があります。これは去年の11月に1回社会実験で、舞洲とつながり中心部のベイトワーとつながるような実験的なイベントを行いましたけれども、そういった潜在的に魅力のあるところを活かしていくことでございます。

それから真ん中の緑色のところは、朝潮橋駅周辺のエリアですが、八幡屋公園という貴重な資源がありますので、それと商店街との連携も図りながら、同時に居住の魅力ということで、ここはもう居住を中心にしたエリアであると考えますので、特に若い世代とか子育て世帯がどんどん入っていただけるような形のまちづくりが必要かなと思っています。

それから、水色のところは大阪港駅周辺エリアで築港地区にあたりますが、ここはいろ

いろな機能が集積しているところがございますので、観光機能もあれば、それから港湾関係の企業が立地しているとかいうこともございますし、今までもシェアサイクルとかいろいろ社会実験的なことをしておりますので、何か新しい物事が起こって、それが発展していった港区全体のにぎわいにつながっていくというような形での取組を、引き続き公民連携の手法で行っていきたいと思っています。

具体的な取り組みとして、次の27から31ページのところで弁天町駅周辺エリアを記述しています。33から35ページが朝潮橋駅周辺エリア、それから、最後になりますけれども、37ページから39ページまで築港地区がございます。ここを中心に読んでいただいて、ご意見いただけたらと思っております。

それで推進体制が41ページに書いていますが、要は区政会議の場などでご意見いただくのも大事だと思っておりますし、また、先ほど申しました公民連携、それから地域連携でいろいろな取組が継続的に行われるような仕組みづくりも考えていきたいと考えております。

すみません、ちょっと時間の関係で、それでも長くなってしまったかもしれませんが、説明としては以上でございます。

○山本議長 8時に終わらせると言うておられますんで、ここは説明聞いただけでよろしいか。5番いきたいなと思うんですけども、委員の皆さん、よろしいですか。

5番いってください。お願いします。

○近藤産業振興担当課長 そうしましたら、議題の5になりますが、議題の5のほうは先ほどの部会の分と今回のこの全体会のアンケートをおつけしておりますので、こちらのほうにご記入いただきたいと思っております。中身はほぼ同じアンケートになっておりますが、全体会のほうだけ、今回はオンラインとかを使って今後できないかというようなこともお尋ねしておりますので、その辺をお答えいただければと思いますのでよろしくお願いします。

それと、今の活性化プランにつきましては3月31日までパブリックコメントということでご意見いただけますが、今日お出した運営方針やまちづくりビジョンにつきましては、もう4月には公表してまいりますので、できましたら3月15日あたりまでに、もしご意見等ございましたら、また産業振興担当までお願いしたいと思います。

それと、あと宣伝になりまして、皆様のお手元にあります手提げ袋ですが、そちらのほうは区役所で港区の産業を応援するというプロジェクトの「みなトクモン」というのを発行しておりまして、そのPRのための広報用の紙袋になっておりますので、そちらのほう



はまたお使いいただいて、広くアピールしていただければと思います。

議題の5につきましては以上でございます。

○山本議長 ありがとうございます。

何かありますか、皆さん。

このアンケートというのは今日書くんですか。

○近藤産業振興担当課長 今日お書きいただきたいんです。

○山本議長 今から。

○近藤産業振興担当課長 この後、終わってからで結構です。

○山本議長 皆さんから何か、さっきの4番も含めて、委員の皆さん、何かありますか。

ちょっと中で災害対策みたいな話は聞けなかったんですけれども、それ聞いたら長くなりますんで、今まで嫌ほど聞いていますからいいんですが。

何か皆さんございましたら、どうぞおっしゃってください。

○近藤産業振興担当課長 今日、ちょっと短い時間の中でやらせていただきましたので、また資料とか見ていただいて、ちょっとよく分からないなとか、ここはちょっと説明していただきたいなというところがありましたら、またお問合せなりメールなりしていただければありがたいです。

○山本議長 皆さん、よろしいでしょうか。

それで今日は市議員の3名の方、誰も来ておられませんので、総括的な意見を聞きたかったんですけれども、ただ、今は議会もあるみたいですし、仕方がないなと思います。

それでは皆さん、本日これでよろしいでしょうか、委員の皆さん。ちょっと時間短くて、何かこう駆け足どころじゃないなという、やったような感じなんですけれども、もう時間も来ますんで、これで終了という形を取らせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

それでは、区役所の皆さんにお返しします。

○近藤産業振興担当課長 山本議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様もお時間ない中で、ちょっとはしょったご説明になりましたけれども、会議の運営にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、最後に副区長の遠藤から閉会の挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○遠藤副区長 どうも皆様、委員の皆様におかれましては、遅い時間までどうもありがとう

ございました。こういった形で部会の後に全体会をさせていただくということで、ちょっと異例な形で、ちょっと時間も短かったんですけども、その点どうぞご了承いただきたいと思います。

新年度を迎えましても、このような場で意見をいただきながら、区政のほうを進めてまいりたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。これで終了させていただきます。